

公益社団法人日本地球惑星科学連合

平成 29 年度第 2 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 29 年 7 月 21 日 (金)

15 時 00 分から 18 時 00 分

2. 開催場所 東京大学理学部 3 号館 320 号室

(東京都文京区弥生 2-11-16)

3. 出席者 理事数 20 名

出席理事 16 名 (定足数 11 名 会議成立)

出席監事 3 名

オブザーバー 15 名

4. 議長 理事 川幡 穂高

5. 出席役員

理事 川幡 穂高

理事 津田 敏隆

理事 田近 英一

理事 中村 正人

理事 古村 孝志

理事 ウォリス サイモン

理事 小口 高

理事 北 和之 (ZOOM 出席)

理事 木村 学

理事 倉本 圭 (ZOOM 出席)

理事 瀧上 豊

理事 西 弘嗣

理事 浜野 洋三

理事 原田 尚美

理事 日比谷 紀之

理事 道林 克禎

監事 北里 洋

監事 鈴木 善和

監事 氷見山 幸夫

6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクションボードプレジデント 高橋 幸弘 (ZOOM 出席)

大気水圏科学セクションプレジデント 蒲生 俊敬  
大気水圏科学セクションバイスプレジデント 杉田 倫明 (ZOOM 出席)  
大気水圏科学セクションバイスプレジデント 佐藤 薫  
大気水圏科学セクション幹事 川合 義美  
地球人間圏科学セクションプレジデント 春山 成子  
固体地球科学セクションプレジデント 大谷 栄治  
固体地球科学セクションバイスプレジデント 田中 聡  
地球生命科学セクションプレジデント 遠藤 一佳  
2017 年準備 TF 主査 末廣 潔  
学協会長会議幹事会 (議長・日本第四紀学会) 小野 昭  
学協会長会議幹事会 (水文・水資源学会) 渡邊 紹裕  
(代理: 杉田倫明, ZOOM 出席)  
学協会長会議幹事会 (日本古生物学会) 真鍋 真  
学協会長会議幹事会 (地球電磁気・地球惑星圏学会) 渡部重十 (ZOOM 出席)  
学協会長会議幹事会 (日本気象学会) 岩崎 俊樹 (ZOOM 出席)

15 時 00 分、理事の定数に足る出席を確認後、会長川幡穂高は理事会が成立することを宣言し、第 1 回理事会を開始した。インターネット電話 ZOOM を初めて利用し、遠隔地から参加する北和之理事、倉本圭理事、高橋幸弘宇宙惑星科学セクションプレジデント、杉田 倫明大気水圏科学セクションバイスプレジデント、渡部 重十学協会長会議幹事会委員、岩崎俊樹学協会長会議幹事会委員が審議に参加できることを確認した。

#### 【前回議事録確認】

第 1 回理事会議事録について、確認し、了承された。

#### 7. 審議事項

##### 第 1 号議案 新入会員承認の件

定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を承認した。

今回承認された 2017 年 7 月 20 日 17 時時点の新入会員を含む正会員 7740 名をもって、次回の代議員選挙の選挙人とすることを確認した。

##### 第 2 号議案 選挙管理委員会設置と選挙日程の設定の件

2017 年度選挙管理委員会を設置し、案の通り委員を承認した。また選挙日程を案の通り承認した。

##### 第 3 号議案 日本学術協力財団賛助会員加入の件

日本学術協力財団に賛助会員として加入することを審議し、これを承認した。日本地球惑星科学連合が加入した旨を、参加学協会に向けてお知らせすることとした。

#### 第4号議案 地球惑星科学振興西田賞規則改訂の件

地球惑星科学振興西田賞規則の改訂案について、審議した。前々回の理事会において、中村副会長が西田先生のご意見を伺う事となっていたが、本件について先生も賛同されることを確認した。第2条2項「2 原則として個人とするが、授賞1件につき2名までの連名を認める場合がある。」を削除すること、また第3条2項「連合の各セクションから1件以上とし、」を削除することを審議した。案の通り承認した。

#### 第5号議案 顕彰委員会規則改訂の件

顕彰委員会規則の改訂を審議した。第5条(委員の任期)に委員の任期を最大3期までとする条文を追加し「第5条 委員の任期は2年とし、再任を妨げないが、最大3期までとする。委員長、副委員長についても同様とする。」と改訂すること、また第6条として委員長及び副委員長の任期に関し「委員長及び副委員長の任期は、委員の任期による。2 委員長及び副委員長の任期は最大2期とし、再任はしない。」を追加することを審議した。案の通り承認した。

#### 第6号議案 大会特別手当規則の制定の件

古村副会長が趣旨説明を行い、大会特別手当規則の制定を審議した。案の通り承認した。

#### 第7号議案 2020年の幕張でのAGUとの共同開催について

6月14日(水)に開催した経営企画会議では、2020年及び2021年連合大会の開催地とAGUとの共同開催に関して様々な観点より詳細に検討した結果を川幡会長が経営企画会議議事録に基づき、丁寧に報告した。この経営企画会議の全会一致の結論について、「2020年連合大会の会場を幕張メッセおよび東京ベイ幕張ホールとすること」「2020年大会をAGUとの共同開催とすること」を審議の上、承認した。2021年以降の会場についてはさらに検討を重ねることとした。

### 8. 報告事項

#### (1) 川幡穂高代表理事職務報告

第7号議案でも報告があったように、6月14日(水)に開催した経営企画会議について報告があった。

理事の構成に関する問題についても報告した。これは、理事のうち1名が10月1日付で異動することに伴い、同一機関の理事が理事全体の1/3を超える(7名となる)ため、内閣府に相議し、法律(公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律)に従い、早急に対処する方針を確認した。本件については、すでに異動する理事に相談し、10月1日以前に対処していただくお願いをしているとの報告があった。

#### (2) 田近英一理事(広報普及担当)職務報告

現在JGL8月号の編集作業中である。

連合ホームページの障害については、主なページを復旧することで対応している。

また連合ホームページはリニューアル準備中でもあり、現在業者と協議中である。セクショ

ン、委員会ページは現段階でも独立して編集・公開しているが、これもあわせてリニューアルを検討している。

英語化の作業をどのように行うかを、外注も視野に入れて検討している。

なお大会ホームページはこれとは別に例年通り作成予定である。

#### (3) 中村正人理事（顕彰担当）職務報告

Outstanding Student Presentation Award について報告があった。受賞者を7月10日のメールニュースおよび連合ホームページにて発表した。

#### (4) 古村孝志理事（総務担当）職務報告

職員の契約更新時期であるため、契約更新準備をしている。なお昇給規則に基づき、一名の給料を昇給させる。

就業規則の設置を検討中である。月給制への統一、フレックスタイムの導入、退職金制度、育児休暇等、福利厚生の正常化を検討している。これらについて、職員全体との会合を行った。職務内容の確認と見える化と合わせ検討している。今後理事会で議論を続ける。

#### (5) 北和之理事報告（財務担当）職務報告

JpGU-AGU Joint Meeting 2017 の収支について報告があった。財務的にも問題なく大会を終了し、基本的に予定された予算執行内で推移しているとの報告があった。

寄附金受け入れ状況について報告があった。

#### (6) 倉本圭理事（ジャーナル担当）職務報告

論文投稿・出版状況について報告があった。順調に投稿受付・出版を行っている。委員会開催状況と議論の内容についても報告があった。また、第1回・第2回の西田賞受賞者や、JpGU-AGU Joint Meeting 2017 のコンビーナから推薦があった優秀発表著者へ論文投稿依頼をした旨があった。

#### (7) 浜野洋三理事（大会運営担当）職務報告

JpGU-AGU Joint Meeting 2017 に関する報告を行った。参加者数、各種セッション、開催イベントなどについて報告があった。大会時会場内で起こった盗難事件について報告があった。

2018年連合大会準備状況について報告を行った。会期は2018年5月20日より24日までの5日間である。2017年9月1日よりセッション提案受付を開始する。現在、プログラム委員会を組織している最中である。

#### (8) 大会準備タスクフォース報告

JpGU-AGU Joint Meeting 2017 に関する報告を行った。AGU側からの参加者は810名に上り、世界各国から参加者があった。今大会の3年間にわたる準備活動のまとめとしてこれまでの活動内容が報告された。

本タスクフォースは 2017 年大会終了をもって予定通り解散となるが、末廣潔主査を International Program Coordinator (国際コーディネーター) として平成 29 年 7 月 4 日より平成 30 年 3 月 31 日までを任期として委嘱することが会長より報告された。

#### (9) グローバル戦略委員会活動報告

グローバル戦略委員会の活動報告があった。7月14日(金)に2017年度第1回、また本理事会に先立って21日(金)第2回のグローバル戦略委員会を開催した。台湾との連携を強化するための活動などについて報告があった。ICSUに関する情報交換と意見交換を行った。今後グローバル戦略委員会でも検討してゆくとした。

川幡会長より、2040年(長期)、2020年代(中期)、2020年までの短期の国内外の経済・社会状況の推定が説明された。日本地球惑星科学連合理事会では、これまで、科学については「夢ロードマップ」などで具体的な議論がされてきたが、経済なども含めた社会に対応した中長期のビジョンは議論されてこなかった。しかしながら、オリンピック後には各種指標が急速に変化するが現在予想されている。そのため、中長期計画を議論する前提として、皆で情報の共有をすることが、まず必要との観点より、経済・社会状況の大枠についての具体的な数字の資料が提供された。

#### (10) 情報システム委員会活動報告

JpGU-AGU Joint Meeting 2017でのオープンサイエンスセッションの開催報告があった。国際的なレベルの活発な議論があり、盛況であった旨報告された。

#### (11) 環境災害対策委員会活動報告

11月26日に宮城県仙台市仙台国際センターで開催される防災推進国民大会へ参加する予定であることが紹介され、その準備報告があった。連合がメンバーである防災学術連携体と学術会議が主催する2セッションに参加する。「衛星情報・地理情報を防災に生かそう(仮)」でのディスカッションのパネリストは高橋セクションプレジデントが務める。別のセッション「衛星情報・地理情報と防災イノベーション(仮)」のパネリストを募集しているので、推薦をお願いしたい。またポスター展示へも参加を予定している。

#### (12) 教育検討委員会活動報告

学協会長会議から提案があった、教育関連ワークショップの開催について検討した。提案のように大会時に開催するのは難しいため、夏季休暇を利用したものを検討している。ホームページを利用した情報公開も検討している。

教員免許更新講習の受付状況について報告があった。4講習を開設しているが、予定よりも応募者が多い状況がある。

小委員会の活動についても説明があった。

また、平成33年度から大学センター入試に代わる共通試験が導入される件についても情報を収集している旨報告があった。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(18時00分)  
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席役員は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

平成 29 年 7 月 21 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 2 回理事会

出席理事	川幡	穂高	印
出席理事	津田	敏隆	印
出席理事	田近	英一	印
出席理事	中村	正人	印
出席理事	古村	孝志	印
出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	小口	高	印
出席理事	北	和之	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	倉本	圭	印
出席理事	瀧上	豊	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	浜野	洋三	印
出席理事	原田	尚美	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	道林	克禎	印
出席監事	北里	洋	印

出席監事 鈴木 善和 印

出席監事 水見山 幸夫 印